

ミラロボ

Mirarobo RPA

チャレンジ

基本編 ～ミラロボの使い方をマスターしよう～

使用するコマンド

A アプリ・画面

■ アプリ>起動

アプリを起動するコマンド。
「アプリの場所」に起動したいアプリ名を指定する。

※ メモ帳は【notepad】と入力すると起動できます。

D キーボード

■ 入力>文字

直接文字を入力するコマンド。一文字ずつ直接入力しているのと同じ扱いのため、ログインIDやパスワード入力時に安定する。

手順の整理

メモ帳を起動する

文字を入力する

「ミラロボ」と入力

シナリオ構造 / 画面

シナリオ名:メモ帳アプリを起動して「ミラロボ」と入力してみよう

最終変更日: 2026/03/08 18:54:39

← シナリオ一覧に戻る 表示切替 移動 置換 ログ 保存 ▶ 実行

一部実行 参照ID確認 無効化 有効化 閉 開

Search...

1 アプリ起動 (メモ帳アプリを起動 (ウィンドウを最大化したい場合はチェックをつける))

アプリの場所: notepad
待機時間 (秒): 3
ウィンドウ最大化: 無し

2 キーボード入力 (文字) (メモ帳に「ミラロボ」と入力する)

文字: ミラロボ
Enter: 有り

キーボード入力 (文字)

文字 ミラロボ

入力機に「Enter」

使用するコマンド

C マウス

■ 移動>座標

指定した位置にマウスを移動するコマンド。クリックの種類（シングル/ダブル/右）も指定できる。

※ 座標は「画面から取得」ボタンで実際の画面をクリックして取得できます。

■ 移動>画像確認

指定した画像と一致する場所にマウスを移動するコマンド。

※ 検索したい画面上にある一意の画像(文字など)を認識し、マウスを移動するコマンド。

手順の整理

対象にカーソルを移動

座標コマンドや、画像認識コマンドで指定

クリック実行

クリック数を選択します

シナリオ構造 / 画面イメージ

8 ■ マウス移動（座標）

X（横）: 1274 Y（縦）: 56
移動後のクリック: ダブル

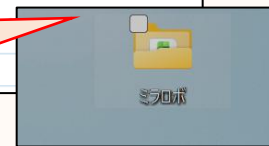
マウス移動（座標）

座標を取得（3秒）

X（横） 1274

Y（縦） 56

※ 座標を取得ボタンを押し、クリックしたいフォルダにカーソルをあわせると、座標のX（縦）および、Y（横）に自動的に値がはいります。



23 ■ マウス移動（画像認識）

画像検索精度: 85%
移動後のクリック: シングル

マウス移動（画像認識）

画像切り取り（最大 150x150px）

切り取りまでの待ち時間（3秒）

※ 画像認識では、検索したい画面上にある画像(文字など)を指定することができます

使用するコマンド

J エクセル・CSV

■ ブック>ブックを開く

ファイル場所を指定してエクセルを開くことができます。特に指定しなければ、新規のエクセルブックが開きます。

手順の整理

エクセルを開く

ブックを開くコマンド

※ エクセルにパスワードがある場合は、直接入力または、パスワードIDを記憶させた参照IDで開くことが可能です。

～一緒によく使用するコマンド～

■ シート操作>切り替え

開いたエクセルのシートを指定したい場合に使用するコマンドです。シート名などを指定して切り替えます。

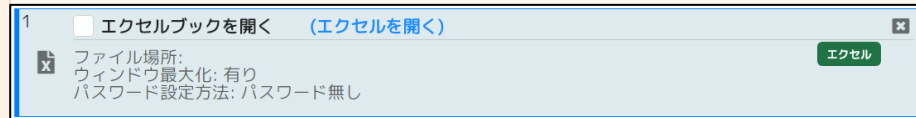
■ エクセルシートの切り替え

シートを切り替えるコマンド

エクセルシート切り替え

| | |
|----------|-------------|
| エクセル参照ID | マスタデータ用エクセル |
| 切り替え方法 | シート名 |
| シート名 | 交通費マスタ |

シナリオ構造 / 画面イメージ



※ 複数のエクセルファイルを使用する場合など、どのエクセルデータを参照しているのかわからなくなるため、**エクセル参照ID名**をわかりやすくしておくことをおすすめします。

使用するコマンド

J エクセル・CSV

■ セル操作>値を入力

エクセルのセル値を指定して文字を入力することができます。

※指定セルの欄紙入力の場合は、実行時の選択範囲に適用されます。

手順の整理

エクセルの値を入力

値を入力コマンド

参照するエクセルを指定

値を入力したいエクセルを、エクセル参照IDから選択

セルを指定

値を入力したいセルを指定

値を入力

入力したい値をデータ参照IDから選択するか、直接入力

※ エクセルのセル値へ値を入力する方法は、他にも「**範囲指定**」コマンドで入力したいセル値を指定し、「**キーボード入力**」で直接値を入力することも可能です。

シナリオ構造 / 画面イメージ

エクセルのセル値を入力 (指定したセルに値を入力)

Excel アイコン: エクセル参照ID: マスタデータ用エクセル
セル数: 単一セル
指定セル: A1

エクセルのセル値を入力

エクセル参照ID: マスタデータ用エクセル

入力値: ミラロボ

セル数: 単一セル 複数セル (タブ・改行区切り)

指定セル: A1

実行結果

使用するコマンド

J エクセル

■ セル操作>値を取得

指定したセルの値を取得して変数に格納する（名前を付けて記憶する）コマンド。取得した値は他のコマンドで参照IDとして使用できる。

※ 取得した値は「データ参照 ID」という名前で管理していきます。後々、キーボード入力や値を入力などのコマンドでデータ参照ID名を選択することで、取得した値を入力することができます。

D キーボード

■ 入力>文字

直接文字を入力すコマンド。

手順の整理

セルの値を取得

何の値を取得したのかわかるようにデータ参照IDは変更しておきます。

メモ帳を起動

アプリを起動コマンドで notepad を開く

値を転記

キーボード入力コマンドで、取得していたセル値のデータ参照IDを選択

シナリオ構造 / 画面イメージ

9 エクセルのセル値を取得

Excel 参照 ID: 参照エクセル
指定セル: D2 (表示通りの値) 値段

| | A | B | C | D |
|---|-----|-----|------------|---------|
| 1 | No. | 商品名 | 型式 | 値段 |
| 2 | 1 | 掃除機 | VC-S6000 | ¥29,000 |
| 3 | 2 | 洗濯機 | AW-10X8 | ¥89,000 |
| 4 | 3 | テレビ | KJ-55X9000 | ¥60,000 |

データ参照ID 値段

今回取得した値は、D2セルにある、掃除機の値段の値のため、データ参照IDはわかりやすく「値段」に設定

19 アプリ起動

アプリの場所: notepad
待機時間 (秒): 2
ウィンドウ最大化: 無し

20 キーボード入力 (文字)

文字: 値段
Enter: 有り

¥29,000

ファイル 編集 表示

¥29,000|

実行結果

キーボード入力 (文字)

文字 データ参照ID

値段

作成したデータ参照IDはここに一覧としてできます。

使用するコマンド

G 分岐 (IF)

■ 数値比較

取得した値を条件に応じて処理を分けるコマンド。「完全一致」「部分一致」など比較条件を設定できる。

※ そうだった時、そうではなかった時 それぞれにコマンドを追加し、条件に応じた処理を行うことができます。

～その他分岐コマンド～

■ 文字列比較

取得した値を「文字列」で判定し、「完全一致」「部分一致」など比較条件を設定できるコマンド

| 文字列比較 | |
|-------|------|
| 文字列① | |
| 文字列② | |
| 比較条件 | 完全一致 |

手順の整理

セルの値を取得

データ参照IDに格納

条件を設定

分岐コマンド追加

条件別の処理を設定

各分岐にコマンド追加

シナリオ構造 / 画面イメージ

(例) 取得した値の数値が30,000より大きいかを判定する (比較値 > 数値)
(30,000より大きい時「高」と入力、小さい時「低」と入力)

The screenshot shows the scenario editor interface. It includes a list of steps:

- Step 9: エクセルのセル値を取得
Excel参照ID: 参照エクセル
指定セル: D2 (表示通りの値)
- Step 10: 数値比較 (取得した値が30,000よりも大きいか比較)
数式: 値段 > 30000
そうだった時 (TRUE):
Step 11: エクセルのセル値を入力
Excel参照ID: 参照エクセル
セル数: 単一セル
指定セル: E2
そうではなかった時 (FALSE):
Step 12: エクセルのセル値を入力
Excel参照ID: 参照エクセル
セル数: 単一セル
指定セル: E2

A detailed view of the '数値比較' (Numerical Comparison) dialog is shown on the right:

- データ参照ID: 値段
- 比較記号: >
- 数値: 30000
- メモ: 取得した値が30,000よりも大きいか比較

実行結果

今回は取得した値は30,000円未満のため、FALSE判定となりE2セルへ「低」が入力されました

| | A | B | C | D | E |
|---|-----|-----|----------|-------|----|
| 1 | No. | 商品名 | 型式 | 値段 | 判定 |
| 2 | 1 | 掃除機 | VC-S6000 | 29000 | 低 |

使用するコマンド

J エクセル

■ ブック>ブックを保存

作成したエクセルを保存するコマンドです。保存したい場所を指定したい場合は、保存場所のパスを入力し、最後にファイル名を入力します。

手順の整理

エクセルを保存

ファイル名に、保存したい場所のパスと保存ファイル名を入力します。

【注意】

保存ファイル名が指定されていない場合、既存エクセルはそのまま上書きで保存され、新規エクセルはユーザーのドキュメントフォルダに上書き保存されます。

シナリオ構造 / 画面イメージ



保存ファイル名に直接保存場所のパスを入力します。
※最後にかならず拡張子である .xlsx をいれて保存してください

使用するコマンド

D キーボード

■ ショートカットキー

作成したエクセルを保存するコマンドです。保存したい場所を指定したい場合は、保存場所のパスを入力し、最後にファイル名を入力します。

■ 入力>文字

直接文字を入力すコマンド。

WindowsのOfficeソフト（Word, Excel, PowerPoint）では、F12キーを押すことで「名前を付けて保存」ダイアログボックスを瞬時に表示できます。メニュー操作を省略できるため、ファイル作成や別名保存の時間を短縮できる便利なショートカットです。

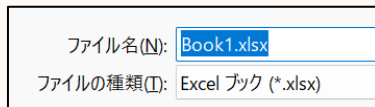
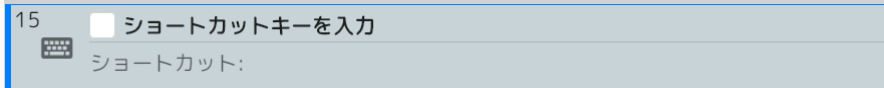
手順の整理

ショートカットキー F12キー

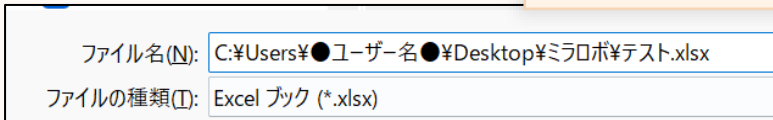
キーボード入力

保存したいフォルダおよびファイル名パスで入力する。入力後Enterにチェックをつけておくと、そのまま保存されます。

シナリオ構造 / 画面イメージ



Excel保存コマンドの時同様に、保存場所のパスを入力します。



入力後Enterにチェックをいれておくことで、そのまま保存することができます

こちらのサイトに画面説明動画もございます。

<https://support.mirarobo.com/>